令和８年度 校内研究について

1. 研究主題

「気づき・考え・表現し合える生徒の育成」

2. 研究副主題

～学びのユニバーサルデザインと「主体的・対話的で深い学び」の往還を通して学力向上を図る～

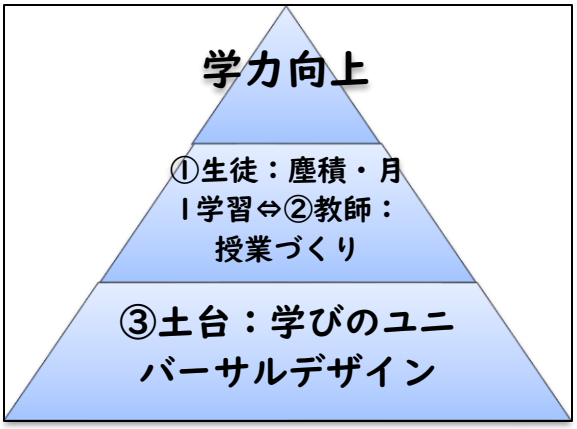
3. 研究のねらい

昨年度の成果（学力向上への意識高揚）を継承し、課題（家庭学習の定着・個別支援の充実）を解決するため、「学びのユニバーサルデザイン（UD）」を基盤とした授業づくりと学習習慣の確立を目指す。「生徒・教師・環境」の 3 つの側面をリンクさせ、全校体制で学力向上を推進する。

4. 今年度の研究の柱

①【生徒】自律的な学習習慣の確立と基礎学力の定着

- **「塵積（ちりつも）」課題の継続**：毎日の学習課題による基礎学力の定着。（授業への還流（フィードバック）を重視する。）
- **月 1 回の「全校学習」**：回数を精選し、密度の濃い個別支援の時間とする。生徒自身が課題と学び方を選択し、主体的に学ぶ場とする。



②【教師】「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり

- **ブロック別「事前検討会」の充実**：授業公開後の協議だけでなく、事前の指導案検討を協働で行い、組織的な授業改善を図る。

③ 【環境】「学びのユニバーサルデザイン」の研究と実践

上記①②を支える土台として、以下の 3 つの UD を整理・実践する。

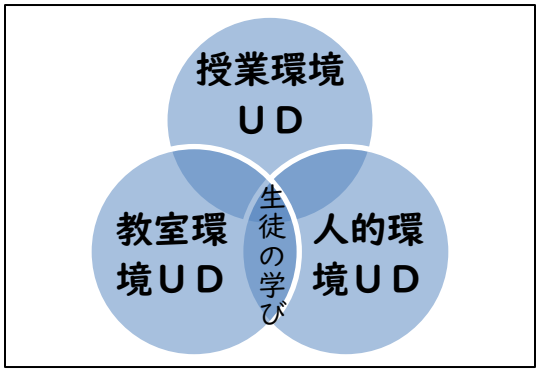
UD の視点	具体的な取り組み案
授業環境の UD	視覚化（板書）、焦点化（めあて）、ICT 活用、段階的な課題設定
教室環境の UD	学習環境の選択制（集中エリア・対話エリアの設置）、掲示物の整理
人的環境 UD	心理的安全性の高い学級づくり、教職員間のチーム支援、家庭との連携

５.各柱のゴール目標

①塵積の実施と結果の分析。月１学習の運営、管理。

②年間２本の研究授業と一人一実践の実施。

③ＵＤに関する理論研究を基にした、実践の実施。



６.組織について

学校長

研究推進委員会　＝学校長・教頭・教務主任・研究主任

授業づくり研究会

文系ブロック
- 国語科＝●矢野・山本
- 社会科＝渡邉・樋口信・望月百
- 英語科＝石原あ・工藤・宮本
- 音楽科＝遠藤洋
- 教　務＝樋口喜・若尾

理数系ブロック
- 数学科＝●石原一・望月清・橋本
- 理　科＝神田・大石
- 保健体育科＝佐野隆
- 技術科＝大木
- 教　務＝小田切

課題別研究会

基礎学力ブロック
- １年部＝矢野
- ２年部＝●石原あ・橋本
- ３年部＝渡邉・大石
- 教　務＝樋口信・大木・望月清

ＵＤブロック
- １年部＝遠藤洋・石原一
- ２年部＝神田・佐野隆
- ３年部＝●望月百・工藤
- 教　務＝樋口喜・小田切・若尾

７．年間計画

回	日時	曜	全体会内容	分散会内容
1	４月 3日	金	昨年度の課題と今年度のテーマの確認	
2	４月27日	月	今年度の研究について	
3	５月25日	月	理論研究	
4	６月24日	水	研究授業の予定	
5	８月20日	木	還流報告　中間反省	
6	９月28日	月	理論研究	
7	11月6日	金	研究授業について	
8	12月 4日	金	理論研究と共有	
9	１月25日	月	研究のまとめ（紀要について）	
10	２月22日	月	研究のまとめ	